

アドック神戸

**空気殺菌装置を開発**

**病原菌加熱で不活性に**

【神戸】兵庫県中小企業家同友会の会員有志による共同開発・受注グループのアドック神戸（神戸市中央区、森合政輝会長、078・334・1230）は、空气中に浮遊する病原菌を死滅させる「空気殺菌装置アドックR-3600」を開発した。各種ウイルスなどの不活性化にも効果を示すとしており、病院や学校、集会所など人の集まる場所での設置を見込む。価格は360万円。代理店の活用も検討しており、09年度に10台の販売を目指す。

アドックR-3600 奥行き585mm×高さ1030mm。乾熱殺菌方式を採用し、取り込んだのサイズは幅485mm×



化学薬品を用いずに高い滅菌力を示した

60度Cまで加熱することで、菌を死滅させる。

処理能力は毎分1立方メートル。滅菌剤など化学薬品を使わないため、安全性が高い。既存の空気清浄機で必要だったフィルタ交換も不要となる。性能確認試験は最も死滅しにくいと言われる「枯草菌胞子」を使って、神戸大学大学院保健学科が行った。100個の空气中に1000万個の菌を投入し、同装置で処理したところ、装置から排出される空気中の残存菌数はゼロとなった。耐久試験でも実用化の水準を上回ったという。

アドック神戸は兵庫同友会の会員が集まり、99年に発足。空気殺菌装置は03年に北斗電子工業、森合精機、奥谷金網製作所、ツインテック、藤製作所、明花電業の6社で開発に着手。「試作品の開発・改良を繰り返し、7年がかりで最終製品が完成した」（森合会長）という。今後は販売ル-

トの開拓に注力するほか、アドック神戸でも受注活動を行う。注文から約1カ月で納入が可能。